

令和6年度第2回苫前町地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和7年1月28日14:00～14:35

場 所：苫前地区コミュニティセンター 多目的会議室

出席委員：成川会長ほか14名（出席者名簿のとおり）

大平羽幌町町民課長（オブザーバー）

欠席委員：永田委員、工藤委員、秋山委員、鴨田委員、渡部（和）委員

事務局：加賀谷事務局長ほか2名

1 開会

事務局（加賀谷）

それでは、ご案内の時刻になりましたので、ただいまから、令和6年度第2回の苫前町地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日の司会を務めさせていただきます、苫前町総合政策室の加賀谷でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

2 挨拶

事務局（加賀谷）

はじめに、当協議会の会長であります、苫前町副町長の成川からご挨拶を申し上げます。

成川副町長

皆さん、こんにちは。本日は大変お忙しい中、苫前町地域公共交通活性化協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。本協議会の会長を務めさせていただきます、苫前町副町長の成川でございます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

さて、地域公共交通を取り巻く環境は、改めて申し上げるまでもなく、非常に厳しい状況が続いてございます。燃料価格等の物価高騰による経営環境の悪化をはじめ、いわゆる2024年問題として知られる、時間外労働規制の強化に伴う運転手不足の深刻化などの課題など、今まで以上に、地域全体で取り組むべき喫緊の課題として、認識をしているところでございます。

本協議会は、こうした地域公共交通の様々な課題に直面する中で、高齢者や学生をはじめとした地域住民の生活を支える足として、その果たす役割の重要性に鑑み、今後の我が町の公共交通をいかにして守り育てていくか、という議論を、様々な関係者の皆様の意見を頂戴した上で進めて行くための場として、昨年3月に設立をさせていただきました。

後ほどの議事の中でもご説明させていただきますが、来年度は、地域公共交通のマスタープランとなる「地域公共交通計画」の策定作業を行う予定でございます。委員の皆様の豊富な知識と経験を結集し、地域住民の皆様にとって利便性の高い、そして、将来にわたって持続可能な公共交通システムの実現に向け、取り組んで参りたいと考えてございますので、よろしくお願いいたします。

本日は限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げまして、簡単ではございますが、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(資料確認・委員紹介・会議成立報告)

事務局（加賀谷）

それでは、議事に入ります前に、まず、本日の資料の確認をさせていただきます。
(配布資料の確認)

事務局（加賀谷）

続きまして、「委員名簿」と合わせてご確認をいただければと存じますが、今年度、交代されました委員の方々を名簿順に御紹介させていただきます。

(出席委員の紹介)

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（加賀谷）

なお、本日は、永田委員、工藤委員、秋山委員、鴨田委員、渡部（和）委員の5名がご欠席となっておりますが、オンライン出席を合わせ、会長以下、委員19名中14名と、過半数の出席がございますので、会議が成立していることを、ここでご報告させていただきます。

事務局（加賀谷）

それでは、これより議事に入ってまいります。協議会規約の基つき、会議は成川会長が議長を務め、進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

成川会長

ここから、進行を務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。以後、着座にて進めさせていただきます。

まず、議案第1号「生活路線バスのダイヤ改正について」を議題とさせていただきます。
事務局からの説明をお願いします。

事務局（加賀谷）

(議案説明)

成川会長

説明が終わりましたので、これから質疑を受けてまいりたいと思います。ご質問やご意見などありましたら、ご発言いただければと思います。よろしくお願いします。

はい、(小西委員)どうぞ。

小西委員

この表は、運行時間の表ということでしたが、主立ったところだけを書いているという理解で良いのでしょうか。

事務局（加賀谷）

はい。途中は省略して、始終点からといった記載になっています。

斉藤委員

よろしいですか。沿岸バスの斉藤です。ただいまの抜粋ですが、この表には苫前役場や苫前上町の両停留所が入っていませんけれども、全部に停車します。さらに、先程ご案内いただきました（羽幌古丹別の）急行系統については、上平バスターミナル、北香川、三豊の3か所のバス停は通過になりますが、ほかのところは停車いたしますし、道立羽幌病院にも停車いたします。

（平田委員の挙手あり）

平田委員

事務局からも、この様なかたちで、苫前町としてもやむを得ないところかな、という話がありましたが、地域住民の代表という立場で、少しお話をさせていただきます。

車の無い方、特に高齢の方や子供たちにとっては、やはり、だんだんと選択肢が狭まってくるという感じになっておりますし、本当に人口が減ってきて、それからバスの運転手の確保とか様々な要因があって、やむを得ないなという様なこともあるとは思いますが、これがまた将来に向かって、さらにまた縮小ということも考えられなくはないな、という危惧をしております。できるだけ、やはり地域住民の足でございますので、それぞれ努力はしていただいているとは思いますが、今後もその辺りに対する配慮ということを考えていただきたい。このダイヤ改正については、このとおりでやるしか方法はないのかなという感じはしております。以上です。

事務局（加賀谷）

ありがとうございます。平田委員ご指摘のとおり、利用者が減って、便数が減ってという良くない循環になっていくと、どんどん先細るだけという懸念は、本当にごもっともだと思います。ですので、次の議案でもお諮りをする部分ではあるのですが、地域公共交通計画というものをつくっていかうと思っていまして、その中では、バスだけではなく、ハイヤーや患者輸送のバスであるとか、スクールバスといった色々な公共交通に関わる場所もありますので、それらの組み合わせといいますか、お金をなるべくかけずに地域住民の皆さんが便利に使えるような足のあり方というか、公共交通の是非と言いますか、どの様な形でやるのが我が町にとって一番良いのかというところを、しっかり考えていきたいと思っています。この場では、「しょうがない」という形でいただきましたが、バス路線については、バス事業者としては精一杯努力をしているのかなと思ってまいりますので、私たちも当然、利用者側として、使うべきところは使わせていただいて、そうではないところにはどの様なあり方があるのかというところは知恵を出し合いながら、地域で考えていきたいと思っていますので、これからはどうぞ様々なご意見をいただくようお願いを申し上げて、事務局からの答弁にさせていただきます。

平田委員

追加でお話をさせていただきます。本当に人口も減ってきていて、これはただ地域だけの問題ではないかと、私は思っています。こういった問題が全て地域の責任でやらなければいけないという様なことになると、本当に、先ほど話したように悪循環になっていく可

能性がある。私は、やはり国の政策として、地方を盛り上げていくという、地方創生ということで国としてもやっている様ですけれども、実感としては、あまり国がやってくれているなというものは無く、地方の格差を感じる。こういったものは地方の行政だけではどうしようもないというようなことがあると思うので、その点についても、どうぞ国に対して、もっと力強い要請をして、そして、地方が成り立つような形でやってもらいたいと、こういう考えでありますので、よろしくお願いします。

事務局（加賀谷）

事務局が答弁するのは少し変かもしれませんが、地方行政の一端を担う立場として、国にしっかり支援と言いますか、支えていただきたいなというところがありますので、要請できる場面ですとか、しっかりと訴えて、地域を守って欲しいというところを伝えて行きたいと思っております。

成川会長

他にご質問やご意見が特段ないようでしたら、議案第1号につきましては、あくまでも苦前町の中での意見集約ということになりますが、やむを得ないといえますか、これを受けざるを得ないという様に町としても考えておりまして、今日、皆さんにお配りしているという事情もありますので、特段の意見無くご承認をいただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

（承認の声）

ありがとうございます。バス事業者に対しては、このとおり回答をして参りたいと考えております。

続きまして、議案第2号「令和7年度事業計画案及び収支予算案について」を議題いたします。事務局からの説明をお願いします。

事務局（加賀谷）

（議案説明）

成川会長

説明が終わりましたので、これより質疑を受けてまいりたいと思います。ご質問やご意見などございますでしょうか。

事務局（加賀谷）

この場で難しいようでしたら、後日でも、お気づきの点がありましたら、事務局までお問合せください。

成川会長

それでは、特にご意見、御質問は無いということで受け止めましたので、議案第2号についてはご承認いただいたものとして決定させていただきます。

ありがとうございました。

4 その他

成川会長

本日の議事については以上でございますが、次に、次第の4「その他」についてでございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

(斉藤委員の挙手あり)

はい。では、斉藤委員から、お願いいたします。

斉藤委員

沿岸バスの斉藤と申します。いつもお世話になっております。当社から、生活路線バスのダイヤ改正ということで資料を提供させていただいております。これは、オロロンラインの豊富町から増毛町に至るまでの市町村を交えた協議会で、今、協議を進めているものでして、各市町村並びに学校などの意見を踏まえて整えた上で、国に申請する予定です。なので、これはまだたたき台の段階になります。まだ会議で見せできるような内容ではないのですけれども、苫前さんの強い意向もありまして、今回提示させていただきました。

ですので、この後大きく変わる可能性もありますので、この情報については、この場限りにとどめていただけると幸いです。

運行回数の削減とか、最終便の繰上げなどがあり、説明にもありましたけれど、日常的なご利用のお客様が減っていること、減っているため、国や道の補助要綱を満たすことができなくなる恐れがある、補助金をいただけなくなる恐れがあるということで、それらを踏まえまして、本数を利用実態に合わせて見直しました。今回削減になっております日中の便だったり遅い便だったりというのは、大体平均1便当たり3人も乗ってないような、極めて利用実態の少ない便を選んでおります。

ですので、路線バスの目的である通学、あと通院、苫前さんでしたら道立羽幌病院通院が多いかと思っておりますけれども、これについては概ね維持しているところです。あと、特に古丹別地区のお客様、生徒さん、羽幌高校は、今、上平で乗り継いで、留萌から来るバスで乗り継いで学校に向かっていますけれども、これを、苫前さんと羽幌さんの支援の下、急行便を、古丹別から直行で羽幌まで行く便を、今、検討しております。当初は朝1便のみでしたけれども、これも学校さんの要望も踏まえまして、羽幌高校から下校する時間帯、平日は15時台、16時台ですか、で、午前授業の時はこれに変えて13時台に運行する予定で、今進めているところです。まだ本決まりではないのですけれども、できるだけ生徒さんに乗換えの負担が無い様にしたいと、そういう思いでやっております。

これは、かつての国鉄羽幌線が、古丹別から羽幌まで直行で行っていたのですけれども、当時は道道が整備されていなくて、やむを得ず、苫前さんが上平にバスターミナルを置いて、バスを接続させるという形をとって参りましたけれども、利用者は減ってはいるのですけれども、利便性を確保したいということで、この様な体制を取る予定です。

そして、最終便の繰上げについて、留萌発19時台の便なのですけれども、運転手のいわゆる2024年問題、時間外労働規制でですね、どうしても繰り上げて、運転手が早く帰れるような環境にしたいということで、繰上げを行っております。ですので、留萌高校に通っている古丹別地区の生徒さんは、今最終便が19時19分、元川町からですけれども、これを30分近く繰り上げることになります。実は、留萌高校の先生、特に顧問の先生から、部活動後、北に向かう生徒さんだけ30分早く帰らなくてはならないから、なんとかできないかと言われたのですけれども、法令その他を遵守しなければならないということで、大変心

苦しいですけれども、繰上げをさせていただきます。同時に、留萌から増毛にも繰上げを提示しているところです。まずは、通学、通院、そして部活動については、法令の及ぶ範囲内で可能な体制を、今、進めているところです。

あと、上平での待ち時間を短縮するなど、今、色々と調整をしていますので、便数は減りますけれども、その中でも利便性を確保したいという思いでやっておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、これは今、各市町村には内々にお話したのですけれども、協議会では初めてお話しさせていただきます。

生徒さんや一般の方が購入する定期券なのですけれども、今年の4月1日からスマートフォンの定期券を設定します。この様に（スマホ画面を見せながら）、これまで紙券を発券しましたけれども、スマートフォンにアプリ経由で購入して、生徒さんは降りるときにこれを提示するものです。

沿岸バスの窓口は羽幌しかありませんので、特に苫前の方は、わざわざ羽幌まで買いに来なくてはならなかったのですけれども、クレジットカードやコンビニエンスストアでの決済も可能になります。それと、Pay-easy（ペイジー）という銀行のATMや郵便局も含めて、そういうところでも支払いができますので、より便利になるかと思います。

一応、紙券は残しています。残しますけれども、スマホの方が便利ですので、ご検討いただければと思っております。スマホの定期券については、2月の中旬ぐらいに公式発表予定です。まだ具体的なお話はできませんけれども、スマホの定期が出るよって話はしていただいて構いませんので、よろしくお願いいたします。

長らく路線バスについては、運行の維持に苦慮してきたところなのですけれども、関係する市町村さん、国などから補助金をいただいて、これを維持しているところです。国鉄羽幌線が廃止になって、もう、35年以上経過しまして、大変難しいところを迎えていますけれども、できるだけ地元の生徒さんや通院の方の足になるよう、維持に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

成川会長

ありがとうございました。

その他、事務局のほうから何かありますか。

事務局（加賀谷）

はい、特にございません。

5 閉会

成川会長

それでは、特段皆さんからのご発言も無いように思いますので、以上を持ちまして本日の会議は、終了とさせていただきます。

本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、感謝を申し上げます。

先程の事業計画にもございましたが、来年度、令和7年度第1回の協議会につきましては、事務局から改めてご案内を申し上げますので、引き続きよろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。